

長

電信  
電信地

京城連絡部長官宛

行連絡部日報 電話第

號

受信  
送信

日

時

分

電  
業務

日  
時

作  
事

發信者 日比野 佐

一本目引揚者左記ニ依リ本署セシメタリ  
一 朝八時集合第三面ニ送附ヲ完了シ本署ニ分齊車セリ  
又本署人員二三四〇名以テ

軍人	四	五〇名
男子	三	〇〇名
女子	七	九六名
子供	二	六〇名
幼子	四	三二名

本署ニ當リテノ重要連絡部員全員日本人世話會掛員  
及學生隊約四十名ノ應援ヲ受テ計画通リ津調ニ送  
行セシメタリ

0491

二 明治二十年、平定

本日公啓セシムル経験ニ鑑ミ朝六時集合ニ尚若干  
修正ヲ加ヘ意感ナキヲ期ス

0492

官長		野	
種類	至急	發送地	大田
發送所	東京	受取所	東京
發送者	東京	受取者	東京
發送時間	10月26日	受取時間	10月26日
發送件数	1	受取件数	1
發送内容	十月二十六日 東京船七名 留者一三名 徳島丸(博多向)二名 博多向(八六一名)計三六名 倉山船 留者一三名		

0493

23

官長

参考

種類  
発信地

東京陸軍次官宛

朝参電第四七號

在濟州島部隊輸送八月二十三ヨリ

開始ニ五日迄ノ三日間ニ被立保向約

一二レレレ名(同島所在部隊約四分一)成リ

二七日以後(丁)一百隻ヲ以テ佐世保ニ向テ輸送

ノ予定ニシテ遲延十一月十日迄ニハ輸送ヲ終ル見込

ナリ

受電所  
通電所

日  
時  
分

受電業務  
通電業務

日  
時  
分

0494

長官	連	命	受取部	<p> <small>受取部</small> 緊急  <small>受取部</small> 東京  <small>受取部</small> 朝鮮軍司令部参謀長宛  <small>受取部</small> 陸軍省 第四九一號  <small>受取部</small> 朝鮮軍司令部参謀長宛  <small>受取部</small> 陸軍司令部が約一ヶ月前、残置部隊ト共ニ知入引揚完了  <small>受取部</small> マデ復員ヲ延期スル件ニ関シテ再々ノ申入ニ依リ聯合軍  <small>受取部</small> 司令部ハ良ク諒解シ有リテ一万余ノ任務別四隊ヲ要求シ  <small>受取部</small> アルニシキ事甚急送ニ次官 </p>
----	---	---	-----	--

陸軍省 第四九一號

0495



朝鮮之イセウ連絡

四三ノ支隊指揮北軍隊指揮熱眉關係ノ檢討

四果ノ支隊統制任務ノ檢討

仁義務整理ノ爲軍管區司令部ヲ福岡附近ニ設置

又此件

亦職業補算其他

0497

局長  
25

種類 筆記電話  
発信所 三  
時分 分  
主作 業  
備考 手  
副本

発信地 仁川  
受信所 通  
年月 28日  
12時10分  
受信時刻 28日12時01分

京畿道 絡部長官 宛  
発信者 花田 少佐

電報 監

仁川 連絡部 報告

下仁川ヨリ第二回日列陣會十時三十分予定

通一出張ヤリ。

仁川 連絡部 報告

0498

續領 至急  
發信地 釜山

受領 付前

28日

合符 5分  
20時 2分  
20時 2分  
20時 2分

20時 2分  
20時 2分  
20時 2分  
20時 2分

京城軍部部長官宛

發信者 釜山連絡部長

電第 號

二十月二十七日乘船丸者様ノ如シ

長白丸仙崎向一〇六二名 間宮丸博多向一七二名

計一八七九名

二釜山滞留引揚御人七〇〇名 右ノ人老藤定ノ與安之

ノ人老藤延セシタナリ

通電先 大田軍管區參謀長 京城連絡部長官

0499

官公

管

鐘類緊急  
發信地 釜山

受信所  
通信所

28日 15時50分  
28日 20時10分

受信機  
送信機

28日 20時20分  
作... 南...  
通信所

京城連絡部長官宛

電報

號

發信者 文書部連絡部長

米軍要求一依ル釜山勤務三三〇名ヲ現在服務中ノ  
部隊ヲ交代セルルタメ交代部隊が現在地ヲ出発前

軍命令ヲ以テ命令セラレ、如ク至急取計ラレタシ

新勞務服務會ノ部隊各部隊名、人員數、釜山到着

豫定通報セラレタシ

通電先、大田、京城、釜山連絡部長

0500

種類 軍記電話

発行所

三時分

三冊

作書

発信地 仁

川邊

習

愛媛

日

分

京城連絡部長良定

発信者 花田方佐

仁覺其日報 報 號

一日、引揚者左記ニ依リ出發セシム

八朝七時十五分第二回注射ヲ完了シ十一時二十分發車セリ

2. 出發人員 二一七名

軍人 四四八名 田ノ子 四五八名 女子 五五七名 子供 二六八名

幼子 四四六名

二. 当行連絡部引上ノ間ニ諸準備ヲス

三期二十日、予定 当部合行引上南傳方面ニ接接トシ三時三十分發車後仁川港ニ至

0501

13

参考

官長

25

種類	緊急
発信地	東京
受信地	陸軍参謀長
日時	28日 15時 30分
発信者	陸軍次官
受信者	陸軍参謀長
備考	

陸軍参謀長宛 電第 三〇〇 號

外地部隊ハ終戦後ニ於テル事務処理ノ確實ヲ期

スルタメ從前ヨリノ継続的業務處理上必要止ム得ザル

場合外ハ爾今通稱號ヲ使用セザルコトニ定メラル、依命

通電先 築、支總、ワシ、ソサイ、メル、タン

参考 内地各總軍、各軍管区、センシ

昭和二十八年三月二十八日

0502

長		運		電	
種類	至	急	發	所	所
東京	東京	通信所	通信所	28日	28日
2時40分	2時40分	29日	29日	15時30分	15時30分
27時00分	27時00分				
朝本	朝本				
葉軍 參謀長宛 交通西第ニ八號 復員輸送完了マデ通信確保ノ多ク通信關係材料消耗品 檢計致ミテキコ以テ左記至急承リ度 左記					
一、現在確保シアル數量、概要(消費品ノ種別、何ヶ月分トセラレ度) 二、現狀ヲ以テスル通信確保ノ目途 三、主要地域別ニ中史ヨリ補給ヲ要スル品種數量					

0503



(三五二六列車)

四、第七列車ノ部隊ハ一列車ニ依リ二日迄ヲ三日ノ途中ニ到着ス

(三五〇二列車)

五、第五ノ八列車ノ部隊ハ一列車ニ依リ三日迄ヲ四日ノ途中ニ到着ス

(三五二六列車)

六、船舶輸送ハ部隊倉庫ニ到着スルニ至リテ東京線ニ入ル

運電光 太田 京成

0505



官長		種類		時刻		備考	
京政連絡部長官	宛	急	29日	10時15分	急電	29日	15時06分
又	電第二三三三號	急					
<p>通訳必現在埠頭ニ於テ今ノ新町セウトルニ電報頭ニ於テハ物運          兼引揚ノ事務ヲ掌ルニ名ニテ電報シアリ同揚事人ハ物運          ハ話會ニテニ實施セシメアルニ電報有テハ弱登村ニ電報未得          六ノ付付ニ附送ヨリ一般ノ人ノ電報ヲ増強スルニ力ヲ配據          相成度</p>							
<p>通電先 大田 京城</p>							

備考 並線 別録 六

0507





45

種類 至急	発信所 釜山	30日 12時5分	主作 多業	作業 朝令
發信地 釜山	受電 釜山	30日 16時50分	受電 釜山	30日 16時5分
京城連絡部長官 宛 發信者 釜山連絡班長				
西第 號				
十一月二十九日 東船丸モソ左船ニ				
白龍丸(博多向)一九七名 山口三十九名丸(博多向)				
五八五名 計二五二三名				
釜山滞留人員 九三三名				
三參謀長一行八博多ニ上陸後 二時登京セリ				

南洋 赤線ハ判讀トス

0510

45

種類	至急	発元	30日	1時00分	主作	非常	作業	朝本
発信地	太田	受信所	30日	16時10分	受取	付掛	30日	16時1分
京師運送部長官	宛	宛	宛	宛	宛	宛	宛	宛

朝鮮軍人十月十二日  
 朝鮮軍人十月十二日  
 朝鮮軍人十月十二日

通信網の概況

左記

太田(東京、太田) 清州(太田) 太田(京坂、太田)

釜山

千通信諸元及び文信時間の現状、又、  
 三、如地港灣関係通信網の目下米軍に正式交渉

再發、再送、再送

0511

中ニシテ目下内地港灣連絡部ハノ通信ハ金山  
通信所ニ於テ内地通信機関ト連絡セシメアリ

0512



備 行 赤 線 利 便 上

長 官		運 帶	
種 類	至 急	發 信 所	3/10 10時50分
發 信 地	太 田	通 信 所	3/11 11時50分
京 城 連 絡 部 長 官	宛	發 信 所	3/11 11時50分
朝 參 電 第 四 八 號			
海 峽 通 信 の 左 記 に 依 り 實 施 ス ベシ			
一 通 信 系 釜 山 — 福 岡 (博 多) — 仙 崎 三 所 系			
二 周 波 数 三 五 二 万 KC			
三 呼 出 符 号 ( 兼 符 号 ) 釜 山 — 福 岡 ( ナ イ 子 ) 釜 山 — 仙 崎 ( ス 本 )			
四 發 信 時 間 九 時 — 三 時 一 七 時 — 二 時 間			
計 画 釜 山 — 舞 鶴 系 に 之 7 中 止 ス			

0514

參考

彙檢地太	回	彙檢地太	30日19時15分	彙檢地太	30日06時40分
本日朝鮮連絡班長宛	朝轉	重第	四七回	彙檢地太	30日06時40分

本日朝鮮連絡班長宛 彙檢地太 朝轉 重第 四七回

夕イ草連第二七〇號

五航空殘務管理班中將ニ傳ハシ度

異御懇電ヲ謝ス人專員係者以達各部隊ニ通報セリ

六五航軍ノ兵器引渡ノ爲殘留ニテ部隊(亦消ノ丹陽

大田)八十月一日大田八内地仰歸還ヲ命セリ

三植村參謀等ノ京派殘留員ニ先行上同時歸還ノ旨

四三三三ノ一師團殘留員トハ十月一日自餘類連絡不

備片 毒線 到請

0515

能く、この日、釜山ヨリハ、イヌタ、外地ニ歸還セザル旨電報アリ  
米軍ト連絡シ、調査ヲ依頼シテ、ルニ、内地ニ於テ、イヌタニ調査相  
成度

五、連絡非ハ、大田部隊ト共、三十一日、歸還ス、予定

坂上 参 謀

0516

45

五

種類	至急	受発	所
發信地	金山	通信所	所
東京運送部長官	宛	發信者	金山運送部長
電第	號	30日	17時30分
		30日	19時30分
		30日	19時50分
		30日	19時50分

金山日本人世話會八月一日以降召集解除者ノ歸還池田會

長軍政部ヨリ稱留其ノ釋放後ノ此地歸還早、為急勢

遺憾ナク、徹力ヲ措シ引揚邦人ノ世話ニ充分力一付テシ得ス

ニ之ガ強加対策トシテ世話會勤務教務名ヲ併地ヨリ募集渡航セ

シムル手續ヤ下ルモ當面ノ策トシテ京城及山田等世話會ヨリ引

揚邦人ノ先發隊又ハ學生隊ヲ以量セラシ金山世話會ノ参加

ニ於テテ活動セシムルニ付斷着煩度

備考 赤線ハ列讀トス

0517



西

南  
子  
音  
家  
一  
所  
請  
讀  
上  
又

十月末日迄の報告ヲ受テタル、京仁地区ヲ除ク  
再應召者五十六名

朝参廻 第四九六號

京坂連絡部長官宛

發信者 參謀長

種類	普通	通	發	受	所	所
發信地	大田	通	信	所	所	所
3/15	15時20分	3/14	14時20分	電	乘	掛
3/15	15時20分	3/14	14時20分	電	乘	掛
3/15	15時20分	3/14	14時20分	電	乘	掛

0519

種類	至急	發信所	3/23 時 27分	3/23 時 31分
	發	付所	受電兼付掛	作業
發信地	仁金山	信所	3/23 時 27分	3/23 時 31分
京城連總	部長	宛	發信者	仁金山連總部長
電第 號				
十月三日乗艦也ル者左ノ如シ				
興安丸仙崎向付六二六四名 總督丸博ヲ白付				
二五四名(内軍隊護朝鮮團司令部四二九名)				
四三一新隊四三二新隊計五二二名(海防隊)				
三九号博多白付二五一名 計九五五名				
二釜山埠溜引揚邦人五〇〇名				
三十日三十一日乗艦予定三〇〇名 通電先本出				

備考 赤線ハ列讀トス

0520